

○第 115 回（令和 2 年 5 月 27 日）書面審議 審議期間：令和 2 年 5 月 21 日～令和 2 年 5 月 27 日

審議事項	学外委員からの意見	第 116 回経営協議会での回答
<p>1 デジタルネイチャー開発研究センターの設置及び設置に伴う法人規則等の一部改正について</p>	<p>①デジタルネイチャーの技術を、ポストコロナ時代にどのような位置づけで展開していくのか。時間軸も含めて説明してほしい。</p> <p>②ピクシーダストテクノロジーズ社との共同研究において、開発技術の位置付けの明確化が必要。両者の関係は契約上でも明確にしておく必要がある。</p> <p>③審議 1 の期待される効果として、産官学連携における成果を具体的に例示してほしい。</p>	<p>①ポストコロナ時代においては、あらゆるコミュニケーションにおいてデジタル環境への転換、逆にアナログ環境への再生が必要になってくる。デジタルネイチャー技術を使って、今後変わりつつあるコミュニケーションの接点を目指していきたい。時間軸としては、例えば 5 年後の大阪万博に向けて、リアルでも仮想空間でも開催されるナショナルイベントの実現へ貢献したい。</p> <p>②両者は特別共同研究契約に基づいて共同研究を行うこととなっており、このセンターでは今までになかった観点や、価値技術を設定していくことを目指して、その技術を社会実装への連続性を持たせるように共同研究を推進していく。</p> <p>また、本学では、利益相反・輸出管理マネジメント室を設置しており、ここの協議により利益相反に抵触しない共同研究契約を締結することとしている。</p> <p>③一例としては、万博のようなナショナルイベントの成功に寄与し、また地域を巻き込んだ文化イベントと大学との交流を推進することが挙げられる。</p>
<p>2 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生の身分等に関する特</p>	<p>（特になし）</p>	

別措置について		
3 目的積立金の使途について	(特になし)	

報告事項	学外委員からの意見	第 116 回経営協議会での回答
1 令和 2 年度国立大学法人筑波大学年度計画について	(特になし)	
2 令和 2 年度(2020 年度)「卓越大学院プログラム」の申請について	(特になし)	
3 令和 2 年度学群及び大学院入学試験実施結果について	(特になし)	
4 令和 2 年度役職教員(社会学類長)について	(特になし)	
5 第 183 回、第 184 回及び第 185 回教育研究評議会報告について	(特になし)	
6 その他	<p>①筑波大学において、新型コロナウイルス感染症に対してどのような対応をしたのか。</p> <p>②コロナ禍により休学を希望する学生の人数はどれくらいいるのか。</p>	<p>①1 月 29 日に新型コロナウイルス感染症リスク対応チームを発足し、政府、茨城県等から発出される情報に応じて、本学の対応を決定し、基幹サイト等により、学生・教職員に周知してきた。現在は、状況の変化に応じて適切かつ柔軟に対応ができるよう、「授業」「研究」「学生の入構」「課外活動」「学内会議」「事務体制」の 6 つの項目ごとに活動形態を設定して対応している。</p> <p>②現在のところ、申請済みが 21 名、そのうち 20 名が大学院生となっている。大学院生のうち、社会人</p>

	<p>③オンライン授業の今後の展開と環境整備について教えてもらいたい。</p> <p>④コロナ禍により授業料免除を希望する学生の人数はどれくらいいるのか。</p> <p>⑤留学生を受け入れる際、PCR 検査や抗体検査の実施を大学として検討しているのか。</p> <p>⑥新型コロナウイルス感染症対策として、特に留学生には生活慣習・文化の違いによる困難が予想されるので、手厚い支援策を考えてほしい。</p>	<p>は5名である。</p> <p>③今年度の春学期は全てオンライン授業で行う。通信機器は200台用意し、ほぼ全て貸与している。また、ウェブ環境やサーバ環境は十分に揃っている。秋学期以降も、100名以上の授業はオンラインを継続する予定である。対面はゼミや研究に関するところに力を入れていきたい。</p> <p>④現在、日本学生支援機構の修学支援新制度に家計急変者7名から書類提出がある。また、本学独自の支援としてコロナ禍による家計急変者の授業料免除は20人程の申請を見込んでいる。この他、政府の学生支援緊急給付金の申請もあり、申請条件である評価係数2.3以下でも総合的に評価することになっている。</p> <p>⑤本学独自でのPCR検査や抗体検査の実施は計画していないが、疑いのある学生がいる場合は、保健所を介して検査を行う。陰性の場合にも14日間の待機、健康観察記録を付けることを渡日する留学生も含め徹底することになっている。</p> <p>⑥留学生に対する支援については、留学生相談室を設置しており、電話や電子メールによって、英語または中国語で対応を行っている。</p>
--	--	---

○第 116 回（令和 2 年 6 月 17 日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 第 3 期中期目標期間の評価（4 年目終了時評価）における現況調査表及び研究業績説明書について	①最近の評価は非常にデジタルになっているが、最終的な評価にデジタル的な目標がどういう形で加味されているのか。	①デジタル情報は数が多いが、これによって RU11 内で差をつけるのは難しい。差がつくのは大学として特筆すべきものをいかに学術機構や文科省に伝わるように書けるかというところであるため、そこを工夫して取り組んでいる。
2 令和 2 年度学内補正予算について	（特になし）	
3 健幸イノベーション開発研究センターの設置及び設置に伴う法人規則等の一部改正について	①センター化すると、それぞれの企業との共同研究がより進むため、大学で得られた成果の権利関係を企業に渡しすぎないように注意すべき。  ②将来的な大学発のスタートアップ、ベンチャーを立ち上げるときに、既に行っている共同研究の内容により妨げられることのないように気を付けてもらいたい。  ③大学においては若手リーダーの抜擢が重要な課題。センター長はどれくらいの年代の方が。	①共同研究を進めている企業とは、知財やその持ち分をどうするかを含め、利益相反に齟齬のないような契約書を交わしている。  ②ご指摘の件についても契約書を交わす際に気を付けて、齟齬のないように進めていきたい。  ③50 歳くらい。以前はセンター長は教授のみだったが、立派な研究をしている教員であれば准教授でもセンター長になれるよう規則を改正した。
4 筑波大学学群学則の改正について	（特になし）	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和元年度余裕金の運用実績	①余裕金の運用先に外資系の金融機関が多いが、ア	①これまでも各金融機関の発行体格付を確認し、外

等について	フターコロナの情勢を踏まえて慎重に見直しを検討すべきではないか。	部の運用経験者の意見を聞いて購入しているが、ご指摘のとおり内外の状況が非常に変動しているため、今後は十分慎重に考えながら対応していきたい。
2 令和元年度決算見込について (速報版)	①筑波大学附属病院の特徴である陽子線治療の患者数が減少しているが、実際の稼働率はどれくらいなのか。また、県外から患者を増やす努力をすることだが、実際に可能なのか。	①過去月 400 人程度見ていた時期と比べると、今はその半分くらいになっている。今後は県内の他、陽子線治療がない東京都内の掘り起こしができると考えている。最も大きなところとしては中国等のインバウンドを増やしたいところだが、コロナ禍の状況で未解決である。
3 筑波大学附属病院における新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) への対応状況について	①学生や保護者に安心を与えるためにも、大学ウェブサイト等に、体の異常を感じたら筑波大学附属病院に連絡するように載せておくのと良いのではないかと。  ②現状、無症状の患者が一番感染力が強い候補者であるため、新たな検温や症状の事前チェック方法についてリードしてもらいたい。	①特定機能病院として、脳溢血や心疾患も治さないといけないため、学生等への周知は慎重に行いたい。まだ学生がキャンパスに戻っていないため、今後迎え入れる際に保健所や学内の保健管理センター、病院と検討していく。  ②抗体検査に加えて、抗原検査が簡便かつ安価にできるようになれば、今感染しているかどうか、過去に感染したことがあるかが分かるため、使いやすくなるかと考えている。
4 第 186 回教育研究評議会報告について	(特になし)	

○臨時（令和 2 年 7 月 8 日）書面審議 審議期間：令和 2 年 7 月 2 日～令和 2 年 7 月 8 日

審議事項	学外委員からの意見	臨時経営協議会（7/17）での回答
1 令和 3 年度施設整備費概算要求	①今回の要求の位置付けが明確になるように、施設	①全体の建物の中で、改修が必要と思われるものが

事項（案）について	全体の管理の現状について教えていただきたい。	30%程あるが、インフラ長寿命化計画の中で、建物の老朽改善の優先順位を付した個別計画を作成し、今回この順位の高いものから優先的に要求事項に挙げさせていただいた。
-----------	------------------------	--

○臨時（令和2年7月17日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和元年度財務諸表について	<p>①有価証券を利率の悪い現金預金に変えたのは何故か。</p> <p>②全収入の中の人件費が占める割合はどれくらいか。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症対応により病院が抱えた損失について、国の補償は見込まれるのか。</p> <p>④外部資金受入額が令和元年については減少していることについて考えを聞かせてもらいたい。</p>	<p>①会計処理上、譲渡性預金は有価証券で整理することになるため、利率は譲渡性預金でも定期預金でもほぼ同じである。今回は、有価証券が満期になるタイミングで、定期預金に切り替えた次第である。</p> <p>②毎年、ほぼ全体の50%前後で推移している。国立総合大学の中では平均的な状況と認識している。</p> <p>③特定機能病院全体で5,500億円の損失が見込まれているが、日本医師会、国立大学病院長会議、国大協から要望を出したこともあり、2兆円の二次補正が出た。ただ、そのうち病院に対する助成は少なく、損失を埋める額には到底なり得ない。本学の病院は助成金を得たことで7億円程度の損失額となるが、今後の情勢も不明なため、引き続き財務省、厚労省に向けて要請をしていきたい。</p> <p>④補助金からの組み替えと大型の受託研究が終了したことが要因である。今後も外部資金戦略を作成</p>

		し、資金獲得に向けて引き続き進めていきたいと思っている。
2 第3期中期目標期間の評価（4年目終了時評価）における中期目標の達成状況報告書及び業務の実績に関する報告書について	<p>①前回に比べて自己判定の評価が低いようだが、もう少し高くつけても良いのではないか。</p> <p>②資料が大部であるため、作る立場から、簡略化及び省力化を提言しても良いのではないか。</p> <p>③簡略化できないとすれば、少なくとも次の計画に役立つような、大学として財産になるようなものを作成してほしい。</p>	<p>①前回と評定の表現が変わり、真ん中の評定が「実施している」となっており、また残り2年間あるため、安全策を取って現状の数値となった。</p> <p>②今回は、恐らく他大学も同等程度の資料を出していると思われるため、力を尽くしたいということで準備した。簡便化については提言することを考えたい。</p> <p>③ある意味ビッグデータ化しているため、先々はAI分析の処理に対するデータベースの基にする、というような考えもある。</p>
3 国立大学法人筑波大学における会議等の開催方法の特例を定める法人規則の制定について	(特になし)	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和3年度国立大学法人運営費交付金（機能強化経費等）の概算要求の方向性について	(特になし)	
2 その他	<p>①政府が研究ファンドを作るという話について。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症に関して、感染防止対</p>	<p>①以前から、複数の大学に声掛けし、国に働きかけていたことが今になって動き出し、本日閣議決定されたものである。</p> <p>②ご指摘いただいたメンタルのケアについては大</p>

	策の他に、学生が感染してしまった時の心のケアについて、特に学生寮が多いことから、気を配っていただきたい。	変重要なことだと思っており、既にガイドラインが作成されている。
--	--	---------------------------------

○臨時（令和2年8月3日）書面審議 審議期間：令和2年7月30日～令和2年8月3日

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和3年度国立大学法人運営費交付金概算要求事項について	(特になし)	

○第117回（令和2年9月23日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生の身分等に関する特別措置について	<p>①入学時期は10月以降、例えば1月でも可能なのか。</p> <p>②9月、10月入学者の卒業時期は3月等に早めることはないのか。その場合、就職するまでのインターバルが生じても気にしない学生が多いのか。</p> <p>③新入生の内、留学生の割合はどれくらいか。</p> <p>④入学試験の時期は3月一斉となるのか。</p>	<p>①1月はなく、9月か10月の入学となる。</p> <p>②9月、10月入学者はそれぞれ9月期、10月期で卒業あるいは学位授与となる。この時期の入学者は留学生が多いため、就職時期は問題にならない。</p> <p>③コロナ禍で入学資格を持ったまままだ渡日できていない方がおり、正式な数がまだ出せないため、確定後お知らせする。</p> <p>④5月など、多少ずれている場合もある。</p>
2 国際産学連携本部規程の一部改正、開発研究センターの設置及び評価に関する法人細則の制定に	①法人細則の評価の実施方法の5年評価は、「良」であっても延長ではなく終了するという評価もあり得るのではないか。	①ご指摘のとおり、継続のほか終了という評価も追加させていただきたい。



ついて	②審査は何件ほど進んでいるのか。また、外部資金の占める割合はどれくらいか。	②現在、開発研究センターは 11 個が確定し 12 個目を設置準備の段階であり、外部資金の割合はほぼ 100%である。
3 目的積立金の使途について	①今後の大学運営の観点から、積立金の額はこの程度で良いのか。	①目的積立金は毎年度の決算で剰余金が出た場合に、国に申請して承認された額を積み立てたものであり、結果的に今期は提示した額となっている。今後の大学運営はこのシステム以外のところで資金を増やしていく必要があると考えている。
4 筑波大学における役員の業績勘案率について	(特になし)	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和元年度財務諸表の承認について	(特になし)	
2 春日地区における宿泊等複合施設整備事業の完了について	①長期宿泊施設の名称が「ショートステイ棟」では紛らわしいのではないかと。 ②稼働率 75%を下回ると契約上ペナルティがあるのか。	①ご指摘のとおり、誤解を招く可能性があるため、早急に名称を見直したい。 ②ペナルティではないが、75%の稼働率を下回ると赤字分について大学が補填しなくてはいけなくなる。
3 TGSW2020 の開催について	(特になし)	
4 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応状況について	①附属病院の対応についても記載してはどうか。	①病院の対応は特に厳しいため、別途資料を作る方が良いかもしれないが、ご提案について担当者と相談させていただきたい。

	②学内関係者に PCR 検査が必要となった際などのマニュアルはあるのか。	②9月17日付けでマニュアルや行動フローの資料を作成した。
5 第187回及び第188回教育研究評議会報告について	(特になし)	
6 その他	①10月からの対面授業とオンライン授業の割合はどれくらいになるのか。  ②9月に新入生歓迎特設Webを公開したとのことだが、4月の入学式延期からの間、新入生はどのように過ごしていたのか。	①対面授業の割合としては3分の1だが、演習、実験、体育の実技等のほかにも、できる限り対面授業で行うようにしている。  ②春学期は全てオンライン授業だったため、ケアが大変だったが、少しずつ対面も始まるため改良されるかと思っている。また、クラス制度により担任から新入生に対するケアを組織的に行っていた。

○第118回（令和2年10月20日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 就業規則の改正について	①勤勉手当とはどういうものか。分母が100とすると良好でないのに100%出るということか。  ②特定幹部とは誰のことか。  ③勤務成績はどのように評価されるのか。	①いわゆるボーナスのこと。質問の数値は成績率のことで、分母以上の数であっても100%を超えて支給されるという意味ではない。  ②部局長、系長などの管理職のこと。  ③業績について、所管する直属の上司が評価している。
2 スマートウェルネスシティ政策開発研究センターの設置及び設	①スポーツがどのように関わるのか。	①ウェルネスの概念の中で、健常者にとっての健康維持の部分で関わってくる。

置に伴う法人規則等の一部改正について	②いくつかの企業が協賛しているが、企業がセンターで研究した学生に期待することは何か。	②企業において、様々な研究を社会に実装するときのコーディネーターとしての役割が挙げられる。
--------------------	--	---

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和2年度組織評価の実施結果について	<p>①定量的評価指数に基づき配分する予算の総額が2000万円というの少ないのではないか。</p> <p>②生存ダイナミクス研究センターのみ、助教が10年任期制なのは何故か。</p> <p>③一人当たりの論文数について、本学は日本や世界でどれくらいの位置にあると考えるか。</p>	<p>①昨年まで試行的に取り入れていたものから変更していないが、今後、増額することはできると考えている。</p> <p>②当該センターでは、テニュアトラック制を廃止したことにより、10年という期限を設けるようになった。</p> <p>③他大学に比べて伸びているが、実数としてはまだ少ない。国立大学の中では8位くらいである。</p>
2 令和3年度国立大学法人運営費交付金等概算要求の概要について	①10兆円規模の基金を作るという話はどうなっているのか。	①資料内の、基礎研究力強化を中心とした研究力の向上の要求事項にある「内閣府と共に要求」という部分がこれに当たる。今、具体的な話が始まっているところである。
3 第189回教育研究評議会報告について	(特になし)	
4 その他	①指定国立大学法人への指定について。	①先日、本学が指定国立大学法人に指定されることとなった。第4期中期目標期間の4月1日から適用される。特に規制緩和の面において主張していきたいと考えている。

○臨時（令和2年11月17日）書面審議 審議期間：令和2年11月13日～令和2年11月17日

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和2年人事院勧告を踏まえた就業規則の改正等について	①本議案は、国会において給与法の改正案が否決されることはないことを前提としていると解釈している。	①ご指摘のとおりである。なお、給与法改正案は11月27日に可決されたため、賞与の引き下げは令和3年度に実施する。

○第119回（令和2年12月22日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 職員宿舍敷地の譲渡について	（特になし）	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 重要財産の譲渡について	（特になし）	
2 筑波大学統合報告書2020の公表について	①統合報告書のWEB版と英語版はあるのか。	①WEB版はすでに本学基幹サイトに掲載している。英語版については、今後作成する予定である。
3 令和元事業年度財務指標分析表について	①大学は企業と異なり、財務指標によるアウトプットが見えづらいが、筑波大学の目指すべきところは何か。  ②国立大学が法人化して、まだ目指すべき財務指標が見えていないところもあると思われるため、海外の大学とも比較することが必要ではないか。  ③人件費比率が他大学に比べ高いとあるが、私立と比べると低いように思える。	①今回分析した運営の基盤を元に、教育研究活動の成果としての発展性、活動性をより高めていきたいと考えている。  ②海外の大学についても今後参考にしていきたい。本学としては、研究費比率及び外部資金比率を上げることが重要であると考えている。  ③附属学校を有しているため、平均すると高い比率となるが、附属学校を除くと他大学とほぼ変わらない状況となっている。
4 令和2事業年度中間決算について	（特になし）	

て		
5 筑波大学附属病院令和2年度経営状況について	(特になし)	
6 令和2年度余裕金の運用実績等について(第2四半期まで)	(特になし)	
7 開発研究センターの評価結果について	(特になし)	
8 指定国立大学法人の指定について	(特になし)	
9 第190回及び第191回教育研究評議会報告について	(特になし)	
10 その他	<p>①附属病院ではどの程度コロナ患者を受け入れているのか。</p> <p>②新型コロナウイルスのワクチン使用が承認された場合の筑波大学の方針はあるのか。</p> <p>③10兆円ファンドについて、どの程度話が進んでいるのか。</p>	<p>①病床は23床用意しているが、本学附属病院は、患者の受け入れというよりは特定機能病院としてメディカルチェック等の面で貢献していると考えている。</p> <p>②大学としての方針はなく、厚労省の指示に従うこととなる。</p> <p>③来年度の予算として、4兆円と今年度の補正予算として5千億円が決定している。博士後期課程の学生への経済支援及び大学の研究力強化に使用される予定で、最初はいくつかの大学に限られるようだが、いずれ研究環境が整ったところへ支援を拡大していくと聞いている。</p>

○第 120 回（令和 3 年 1 月 26 日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 中期目標・中期計画の変更について	(特になし)	
2 令和 2 年度第 2 次学内補正予算について	(特になし)	
3 令和 3 事業年度における長期借入金及び償還計画について	(特になし)	
4 西アジア文明研究センターの設置及び設置に伴う法人規則等の一部改正について	<p>①一般的ではないと思われる「西アジア」、「イスラーム」という呼称にしたのは何故か。</p> <p>②情勢が不安定な地域であるため、センター名に「古代」を付けた方が安全のために良いのではないか。</p>	<p>①「西アジア」という呼称は、日本で研究を進めていくにあたって新しい歴史観、研究観の提案として意図して使用している。「イスラーム」は原語に近い名称を使用している。</p> <p>②研究内容は考古学であることを明記しており、また、イスタンブール大学等、海外の大学とも親交深く研究していることもあり、コンセンサスは得られていると思われる。</p>
5 国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等の公表について	<p>①公表にあたって、体裁やフォーマットを統一した方が良いのではないか。</p> <p>②本コードを作成、公表することの目的は何か。</p>	<p>①国大協のサンプルを元に作成しているが、これから公表される他大学のものも参考に、書き方について検討していきたい。</p> <p>②まずは本学のガバナンスの状況・考え方を社会に公表すること。次第にこれを使って、様々なステークホルダーの協力を得る形に変わっていくものと考えている。</p>

	<p>③経営協議会の学外委員は幅広い人材を求めていると記載があるが、女性の割合がもう少し多い方が良いのではないか。</p> <p>④ガバナンス・コードの今後の取扱いにあたっては、Comply だけではなく、改善すべき点があれば前向きに Explain するというのもあっても良いのではないか。</p>	<p>③現状は学外委員では女性1名であるが、これからもう少し増えると良いと思っている。</p> <p>④ご指摘のとおり、今回公表してこれから活用していく中で、Explain を選択して、改善を進められれば良いと思っている。</p>
--	--	---

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について	(特になし)	
2 令和3年度国立大学法人運営費交付金等予算案について	(特になし)	
3 第192回教育研究評議会報告について	(特になし)	
4 その他	<p>①学生への食料支援事業を行った経緯について。</p> <p>②新型コロナウイルスへのワクチン接種に関する対応の見通しについて。</p>	<p>①秋口からの感染再拡大を受けて、学生にアンケートを取った結果、食料面で困窮している学生が多くいることが分かり、実施するに至った。60の企業、団体から寄附いただき、約3千人の学生に支給した。今後行うかどうかは現在検討している。</p> <p>②厚労省の主導で、2月末から医療関係者へのワクチン接種が始まり、その後65歳以上へ、一般の方へという計画で進んでいる。保管計画等についてつくば市との話し合いが予定されている。</p>

○第 121 回（令和 3 年 3 月 16 日）

審議事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 役員の報酬について	（特になし）	
2 筑波大学における役員の業績 勘案率について	（特になし）	
3 筑波大学マレーシア海外分校 の設置について	<p>①海外分校は、マレーシアでは新しい大学として設置することとなるのか。</p> <p>②マラヤ大学との連携の進め方についてはどのように考えているか。</p> <p>③入学者の多様性にも十分配慮してほしい。</p> <p>④卒業生が母国で活躍するだけでなく、日本でのコミュニティが形成できるような取り組みを考えてほしい。</p>	<p>①ご指摘のとおりである。</p> <p>②先方から共同研究の申し込みが多くあり、本学でもマッチングする部分について進めていきたいと考えている。</p> <p>③ご指摘の懸念についてはよく理解しており、多様性に十分配慮したいと考えている。</p> <p>④コロナ禍前に、現地で、卒業生や日本の企業を含めた学長主催の会を開催した。今後も定期的に行うことを考えている。これに参加した卒業生によりコミュニティが作られつつあり、今後こういった人材を活用しながらネットワークを広げていきたい。</p>
4 令和3年度国立大学法人筑波大 学年度計画について	（特になし）	
5 令和3年4月1日付け事務組織 等の改編について	①「国際局」という名称は縦割りのイメージが強いように感じるがいかがか。	①「デパートメント」に近い意味合いで使用している。学長直属の組織となり、縦割りではなく組織間の横串を通すことが目的である。広報についても同様の構想がある。



6 職員就業規則等の一部改正等について	(特になし)	
7 令和3年度学内当初予算(案)について	<p>①人件費の削減について、別途措置するということは実際にはそこまで減らないのか。</p> <p>②大学フェロシップ創設事業について、今後も博士課程への支援拡大を進めるよう国に提言をしてもらいたい。</p> <p>③授業料の値上げは考えないのか。</p>	<p>①人件費は削減しているが、別途、若手教員の配置や、戦略的分野の拡充で措置しているため、教員の人件費にかかる総額は前年よりも増加していると言える。</p> <p>②博士課程への支援制度が構築されたことは喜ばしいことであるが、これに伴い、既存の支援事業が削減されないよう、注視していきたい。</p> <p>③教育上及び学生支援上で明確な目的や計画が立てられるかによると考えている。</p>
8 令和3年度資金運用計画等について	①国が、国立大学に資産運用子会社を設立できるよう法整備を進めているという報道について。	①相当のリスクがあることを前提に、運用の方法等を考え始めることは良いと考えている。
9 筑波大学出張及び旅費に関する規則の一部改正について	(特になし)	
10 キャンパスマスタープランの改定について	(特になし)	
11 重要な財産の不用の決定及び廃棄について	(特になし)	
12 令和3年度における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生の身分等に関する特別措置について	(特になし)	

報告事項	学外委員からの意見	会議当日の回答
1 令和3年度役員・役職教員について	(特になし)	
2 「第3期中期目標期間における経営力強化方策」のフォローアップ結果(令和2年度)	(特になし)	
3 筑波会議2021について	(特になし)	
4 国立大学法人筑波大学経営協議会学外委員からの提言・質問等に対する大学側の対応・回答について	(特になし)	
5 第193回及び第194回教育研究評議会報告について	(特になし)	
6 その他	①タイムズ・ハイヤー・エデュケーションによる世界大学ランキングにおける本学の外国人学生数について。	①タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(以下「THE」という。)の世界版と日本版とでは、外国人学生数の定義と入力方法が異なっており、数に差が出るのは当然のことである。本学同様、他大学でも数に差が出ていること等について THE に説明し、THE から理解を得られている。